

参考資料 1

(平成 20 年 4 月 15 日・財第 1177 号)

分かりやすい予算要求書の作成について

◆◆ 予算編成過程公表に向けたチェックリスト ◆◆

平成 20 年度本格予算編成から、予算編成過程の公表を行うことになりました。これまで主に財政課向けを意識して作成することが多かった予算要求書についても、今後、府民向けに正確で分かりやすい予算要求書に改めていく必要があります。

ついては、予算編成システムの入力情報について、公表を前提に内容を確認していただくためのチェックリストを作成しましたので、ご活用下さい。

全体

- 一事業がシステム上複数に分かれて別々に要求されているものは、一本化できませんか？
- 個人情報や企業秘密など、公開することが不適切な情報が含まれていませんか？
- 機種依存文字が含まれていませんか？（①、②…など丸囲み文字は極力使用しない。）

要領事業名・事業名等

- 最新、正確、適切な表記になっていますか？
- 予算書に記載している事業名との整合は図れていますか？

目的・内容等

- 直近の現状を踏まえた記載内容に修正されていますか？
- 記載数値（対象数、補助率など）に誤りはありませんか？
- 事業内容は最新の要求内容に合わせた記述になっていますか？
- 事業の必要性・緊急性、事業効果や事業手法の効率性などについて、分かりやすさの観点に留意し、必要な情報を簡潔に記載されていますか？
- 極力、成果指標（指標項目・現状・目標）なども記載して下さい。

根拠法令

- 根拠法令があるものは、根拠法令が記載されていますか？
- 記載されているものは、“根拠”法令といえるものですか？（単なる関連法令ではないか？）
- 最新の法令改正に対応していますか？（制定・改廃、法令名や条項の変更など）

積算内訳(節別表)

- 数量・単位を極力記載していますか？
- 前年度に調整要求や復活要求があった場合、前年度分の積算内訳に不必要な記載が増えて、分かりにくくなっていませんか？（システムで修正可能）